

■ 授業の方針(DNA からどのようにタンパク質が合成されるか)

1. まずはおおざっぱに全体の流れを学習します。
2. 次に詳細な合成の仕組みを学習します。
3. 最後にシミュレーション動画を自分の言葉で説明できるようにします。

授業データ (PDF) 

2 年	組	席
-----	---	---

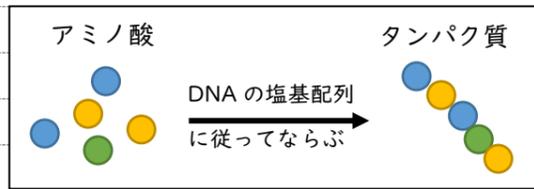
No.8  
提出印

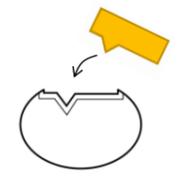
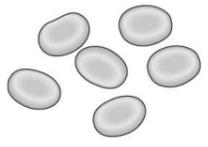
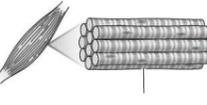
2章

◇ 準備

(1)

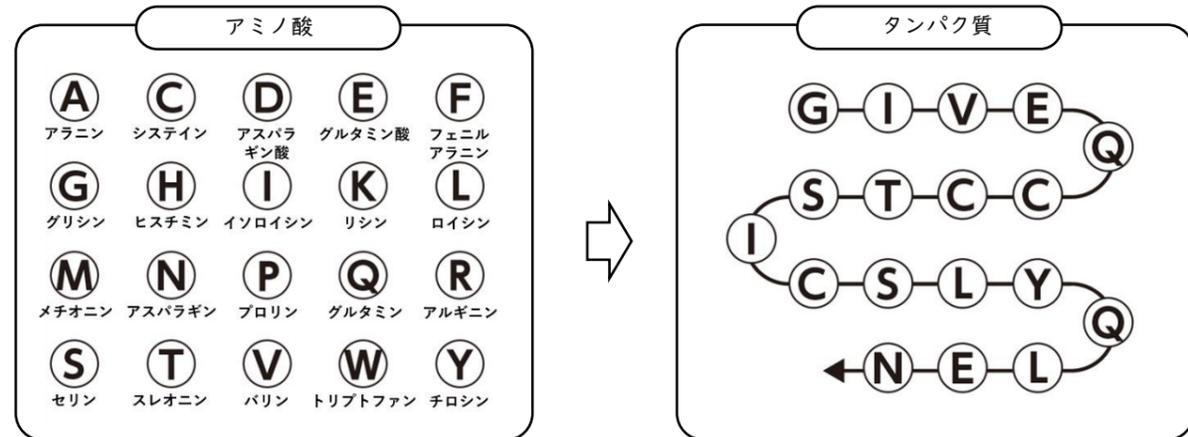
① タンパク質の例



		抗体		
				
化学変化を促進させる物質。	[ ] の成分。[ ] を運ぶ。	免疫反応の抗体として働く。	皮ふに多く含まれ、組織の構造を維持する。	筋繊維をつくる。

②

③ タンパク質を構成するアミノ酸の種類 = 種類



■ 演習(ワーク P.40 49)

(1) 5個のアミノ酸をつなげる場合、何通りの組み合わせが考えられるか。ただし、アミノ酸の鎖には方向生があるため、A-C-DとD-C-Aは別の組み合わせとして数えること。なお、A-A-Aのように同じアミノ酸を重複してもよい。

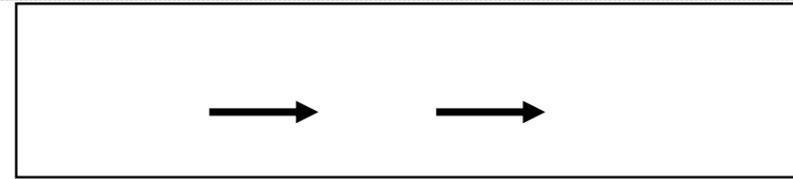
(計算・解説スペース)

[ ] 通り

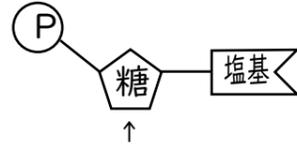
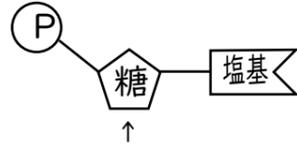
1

= 遺伝情報をもとにして、

(1)



※ RNAとDNAの違い

	DNA ( )	RNA ( )
ヌクレオチド (基本単位)		
構造	( ) 本鎖 = 二重らせん構造 	( ) 本鎖 
DNAの塩基と相補的なRNAの塩基	A ( )	( )
	T ( )	A ( )
	G ( )	C ( )
	C ( )	G ( )

①

